

[2] 教育目標および教育方針

1. 校訓

自治 責任 協力 奉仕

2. 教育目標

「創造的で、豊かな人間性の育成をめざす実践教育」

- (1) 自主性、自律性を高め、よりよい集団生活ができる生徒の育成。
- (2) 主体的に自己を確立し、高い知性と豊かな情操を備えた生徒の育成。
- (3) 自己の言動に責任をもち、たくましい体力と実践力をもった生徒の育成。

3. 教育方針

人間尊重の精神のもと、広い視野をもち、自己向上に努めるとともに、社会の進展に貢献できる心身ともに健全で創造性あふれる生徒を育成する。

(1) 学校経営の基本方針

教育目標に対する共通理解のもと、全職員の力を結集し、目標の達成に努める。

また、各校務分掌等との連携を有機的に図り学校経営の推進にあたる。

(2) 全職員による学校経営

教育目標を達成するために、校務分掌が有効に機能するよう一人一人の職員の役割を明確にし、相互の連携を図る。また、実践過程での着想や体験を統合深化し、学校全体としての高まりとすることを目指す。

(3) 学級、学年経営を重視した学校経営

教育目標を軸に、よりよい学級づくりをめざす努力が学年の経営に結びつく。さらに、それを系統的・継続的に前進発展させていくことが学校経営につながることを意識する。生徒一人一人を常に第一義において進める。

(4) 職員の心構え

- ・実践活動の場で課題を意識し、追究しながら誠意をもって指導にあたる。
- ・生徒の指導は愛情と信頼を基本に、生徒指導の三機能を常に意識しながら、生徒と寄り添うという姿勢を常に貫く。
- ・職員自身も人格の向上をめざす一人の人間として生徒に接する。
- ・職員相互の理解を深め、一体感のある環境をつくる。

4. 中期的目標

(1) 学年・学級経営

- ① 学年・学級の経営方針を明確にし、意図的・計画的な学年・学級経営に努め、互いに個の特性を理解し、支え高めあう心温かな集団づくりに努める。
- ② 各教科、道徳、特別活動等、全ての教育活動を通して、人権意識を醸成させ、心の痛みがわかる生徒の心の育成に努める。
- ③ 学年・学級などの集団生活の中で、種々の場面を仕掛け、集団の連帯意識の醸成と一人一人を尊重する態度の育成に努める。

(2) 学習指導

- ① 教科指導等に関する校内研修の充実を図り、わかる授業、個に応じた指導を積極的に展開し、基礎・基本の定着と活用する力の向上に努める。
- ② 自ら課題を発見し探究しまとめ、発表するなどの過程を通じた、体験的な学習、問題解決的な学習を重視し、学ぶ楽しさや成就感を味わえる授業づくりに努める。
- ③ 数学科での少人数授業で、生徒の習熟の程度に即したきめ細かな指導の充実に努める。
- ④ 特別支援学級の生徒はもとより、特別支援を必要と思われる生徒に対しても、

個に応じた学習指導を行う。

(3) 生徒指導

- ①学校生活のさまざまな場で、各学年の発達段階に応じた規範意識の醸成と基本的生活習慣の育成・確立に努める。
- ②日常的な生徒とのふれあいを重視し、日々の変容などから心の変化を敏感に受けとめ、生徒が抱える悩みや課題の早期発見、早期対応に努める。
- ③調査や面談を通して、生徒の実態を多面的に把握したり、保護者の思いや考えを真摯に客観的に捉えたりすることで、学校と家庭の信頼関係の確立に努める。
- ④学校生活上の課題などによる不登校等の生徒には、特に、家庭との連携を密にし、全職員の組織的な取り組みで問題解決に努める。
- ⑤特別支援を必要とすると思われる生徒に対して、常に家庭や関係機関と連携をはかりながら、個別の対応を行う。
- ⑥児童生徒支援加配教諭を中心とした機能する生徒指導に努める。

(4) 健康・安全教育と環境整備

- ①発達段階に応じて、健康状況を自ら把握し、積極的に自己管理に取り組む態度の育成に努める。
- ②病気やけがの予防・治療に十分配慮するとともに、カウンセリングの手法を活用した心の教育を大切にし、職員と生徒、生徒相互の心の絆を重視した温かい人間関係の育成に努める。
- ③学習環境を大切にし、進んで清掃美化に取り組む態度の育成に努める。
- ④公共物を大切にする気持ちの育成に努める。

(5) 家庭・地域との連携

- ①家庭と学校のパートナーシップ事業を通して、家庭の教育力を上げることで、生徒の学校生活上の諸問題の軽減に寄与させたり、読書習慣の形成に努める。
- ②学校の方針や教育活動等を家庭・地域に積極的に発信し、教育活動への積極的な理解と支援を得るように努める。
- ③地域の教育資源や学習環境の積極的な活用に努める。

5. めざす学校像，生徒像，職員像

(1) めざす学校像

- ①創造性あふれる学校
- ②信頼される学校
- ③開かれた学校

(2) めざす生徒像

- ①学習習慣を身につけ、自らすすんで授業に取り組む生徒
- ②自分を知り、自分の生き方を見つめ、積極的に将来を考える生徒
- ③他を認め、協力することにより、楽しい学校を創り上げていく生徒
- ④正しい言葉遣いができ、きれいな学校づくりを常に心がける生徒
- ⑤進んであいさつができる生徒

(3) めざす職員像

- ①法規を遵守し、生徒や保護者・地域の模範となる職員
- ②自己研鑽に励む職員
- ③柔軟で視野の広い職員
- ④生徒と響きあえる職員